

【参考】各都府県で全壊棟数が最大となるケースの要因別内訳

※冬・夕方

※地震動に対して堤防・水門が正常に機能した場合

(棟)

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計	最大被災ケース		
							地震動ケース	津波ケース	風速
茨城県	-	-	約 30	-	-	約 40		ケース①	
栃木県	-	-	-	-	-	-			
群馬県	-	-	-	-	-	-			
埼玉県	-	約 700	-	-	約 50	約 700	陸側	ケース①	8m
千葉県	-	約 70	約 2,300	-	約 10	約 2,400	陸側	ケース①	8m
東京都	-	約 1,000	約 1,200	-	約 100	約 2,400	陸側	ケース①	8m
神奈川県	約 30	約 1,100	約 2,700	約 10	約 100	約 4,000	基本	ケース①	8m
新潟県	-	-	-	-	-	-			
富山県	-	-	-	-	-	-			
石川県	-	約 100	-	-	-	約 100	陸側		
福井県	-	約 2,100	-	約 10	約 10	約 2,100	陸側		8m
山梨県	約 5,900	約 700	-	約 100	約 900	約 7,600	陸側		8m
長野県	約 700	約 1,500	-	約 90	約 40	約 2,400	陸側		8m
岐阜県	約 3,900	約 3,800	-	約 20	約 400	約 8,200	陸側		8m
静岡県	約 208,000	約 4,900	約 30,000	約 600	約 75,000	約 319,000	基本	ケース①	8m
愛知県	約 243,000	約 23,000	約 2,600	約 400	約 119,000	約 388,000	陸側	ケース①	8m
三重県	約 163,000	約 6,500	約 24,000	約 800	約 45,000	約 239,000	陸側	ケース①	8m
滋賀県	約 7,800	約 2,600	-	約 80	約 2,700	約 13,000	陸側		8m
京都府	約 12,000	約 3,700	-	約 30	約 54,000	約 70,000	陸側		8m
大阪府	約 59,000	約 16,000	約 700	約 100	約 260,000	約 337,000	陸側	ケース④	8m
兵庫県	約 27,000	約 3,600	約 3,100	約 200	約 19,000	約 54,000	陸側	ケース③	8m
奈良県	約 26,000	約 5,000	-	約 200	約 16,000	約 47,000	陸側		8m
和歌山県	約 97,000	約 5,200	約 48,000	約 600	約 39,000	約 190,000	陸側	ケース③	8m
鳥取県	-	約 300	-	-	-	約 300	陸側		
島根県	-	約 500	-	-	-	約 500	陸側		
岡山県	約 18,000	約 5,200	約 90	約 200	約 11,000	約 34,000	陸側	ケース⑤	8m
広島県	約 11,000	約 12,000	約 200	約 300	約 1,100	約 24,000	陸側	ケース①	8m
山口県	約 1,300	約 3,000	約 400	約 50	約 50	約 4,800	陸側	ケース⑤	8m
徳島県	約 90,000	約 4,400	約 15,000	約 500	約 22,000	約 133,000	陸側	ケース③	平均
香川県	約 37,000	約 4,600	約 900	約 100	約 12,000	約 55,000	陸側	ケース⑤	8m
愛媛県	約 117,000	約 7,400	約 14,000	約 400	約 53,000	約 192,000	陸側	ケース⑤	8m
高知県	約 167,000	約 1,400	約 49,000	約 1,100	約 22,000	約 239,000	陸側	ケース④	8m
福岡県	-	約 300	約 30	-	約 10	約 300	陸側	ケース①	8m
佐賀県	-	約 20	-	-	-	約 20	陸側		
長崎県	-	約 20	約 400	-	-	約 400	陸側	ケース⑤	
熊本県	約 30	約 3,100	約 40	約 20	約 30	約 3,200	陸側	ケース⑤	8m
大分県	約 3,000	約 2,600	約 24,000	約 300	約 600	約 31,000	陸側	ケース⑤	8m
宮崎県	約 39,000	約 4,000	約 25,000	約 400	約 14,000	約 83,000	陸側	ケース⑤	8m
鹿児島県	約 100	約 4,500	約 1,200	約 20	約 20	約 5,900	陸側	ケース⑤	8m
沖縄県	-	-	-	-	-	-			

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。